

常滑市内中学校のブレザー導入に伴う  
マスターメーカープロポーザル実施要領

## 1 プロポーザルの目的

令和6年度より、常滑市内4中学校の学生服において、「性差にとらわれない多様性への対応」という観点から、幅広い選択を可能にするための男女兼用ブレザー（以下、「ブレザー」）の導入を目指す。

それに伴い、ブレザーのデザイン決定や制服メーカーに開示する仕様書の作成及び導入後の運用等で、常滑市中学校制服のあり方検討委員会（以下、「検討委員会」）の支援を行うマスターメーカーを選定する。

## 2 事業内容と全体スケジュール

### (1) 事業内容

- ①ブレザーのデザイン案決定
- ②ブレザーの仕様書の作成及び開示（説明会での関係者への説明を含む）
- ③ブレザーの審査・承認及び承認した商品リスト作成と販売店への周知

### (2) 全体スケジュール

令和4年	7月	マスターメーカープロポーザルの実施
	8月～11月	デザイン等に関するアンケートの実施 基本デザイン、仕様書等の検討
	12月～	ブレザー（案）の展示会や投票の実施
令和5年	2月	ブレザーの最終決定
	3月	仕様書を開示
	4月～	参入メーカーのブレザー製造・販売店へ納品
令和6年	4月	ブレザーの導入開始

## 3 プロポーザルの概要

### (1) 名称

常滑市内中学校のブレザー導入に伴うマスターメーカープロポーザル

### (2) 選考方法

公募型プロポーザル方式

## 4 選考日程

### (1) プロポーザルに係るスケジュール

令和4年	5月19日（木）	ホームページによる開催周知開始
	5月31日（火）	質疑締切（17時必着）
	6月1日（水）～6月9日（木）	質疑回答
	6月30日（木）～7月6日（水）	提案書及びサンプル提出 （7月6日17時必着）
	7月19日（火）	マスターメーカープロポーザル
	8月2日（火）	選考結果通知発送

## (2) 質疑の受付と回答

### ①質問書の受付

本要領に関して疑義がある場合は、質問書（様式第1号）に内容を簡潔にまとめて記載し、次のとおり提出すること。電話、口頭での質問は受け付けない。

- ア 受付期間 令和4年5月19日（木）  
～令和4年5月31日（火）17時まで
- イ 提出先 常滑市教育委員会教育部学校教育課  
（検討委員会事務局）
- ウ 提出方法 Eメール（gakkokyo@city.tokoname.lg.jp）

### ②質問書に対する回答

- ア 回答期間 令和4年6月1日（水）～令和4年6月9日（木）
- イ 回答方法 質問した事業者に対し、その質問への回答をEメールにより行う。また、全ての質問とその回答は一覧にしてホームページに掲載する。

※本回答をもって、実施要項の内容が加除・修正されたものとみなす。

## 5 企画提案書について

プレゼンテーション時の資料として、次のとおり提案書を18部（原本1部、写し17部）提出すること。

### (1) 提案書の提出

提出書類	様式、作成上の留意点等
提案書表紙	様式第2号 A4判で作成すること。
提案書	A4判10ページ以内で下記の要点に基づき作成すること。様式は任意だが、A4判縦、左綴じとすること。ただし、資料等でA3判横3つ折りは可とする。 【要点】①常滑市のマスターメーカーとなった場合の企画提案 ・企業の特徴（提供できる商品の特徴や長所） ・ブレザーを導入する趣旨を踏まえ、どのように検討委員会の要望等を取り入れ反映していくのか。 ・要望を満たしたうえで、マスターメーカーとしてどのような企画やアフターサービスが行えるか。 ②その他アピールポイント

#### ※その他作成上の留意点

- ・提案内容は後述の「(6)ブレザー導入の趣旨」「(7)ブレザー導入に係る検討委員会からの主な要望事項」の内容を踏まえて提案すること。
- ・A4判については両面印刷可、記載方法や要点の順番は問わない。
- ・記載内容については、明瞭かつ具体的に、かつ専門知識を有しない者に対して配慮したものにする。
- ・専門用語や略語について、初出の箇所にて定義や説明を記述すること。
- ・ページ番号を記載すること。
- ・文字のフォントは制限しないが、サイズは11ポイント以上で作成すること。

(2) その他必要書類等

①ブレザーのサンプル 4体以内

(例：男女用スラックス1体ずつ+スカート・キュロット1体ずつ 等)

②企業概要がわかる会社案内等の資料 18部

(3) 受付期間・時間

期間：令和4年6月30日(木)～令和4年7月6日(水)

時間：8時30分～17時

(土曜日、日曜日、祝日は受付期間から除く。)

(4) 提出先

常滑市教育委員会教育部学校教育課(検討委員会事務局)

(5) 提出方法

必ず上記提出先へ持参すること。

(6) ブレザー導入の趣旨

世の中の変化が加速する中、中学校の学生服について、「詰襟学生服・セーラー服」から「男女兼用ブレザー」への変化が全国的に見られるようになった。主な理由は「男女の性差にこだわらない多様性への対応」であり、このような情勢から常滑市においても多様性を始め、機能性、耐久性、快適性、経済性を考慮した現代に適応した制服の導入を目指していく。

(7) ブレザー導入に係る検討委員会からの主な要望事項

ブレザー導入の趣旨を理解し、本要領で示したブレザー導入に係る全体スケジュールの遵守に努めながら、次の①～⑦の実現に向けて、検討委員会とともに協力合い、検討していくことができる事業者を募集する。

- ①ブレザーの導入範囲は、ジャケット、スラックス、スカート、キュロットで、ジェンダーレスに配慮したものであること。(範囲については、今後の検討次第で変更の可能性あり)
- ②寒暖への適応性に優れ、快適に学校生活が過ごせる機能性が確保されていること。
- ③推定される平均的な中学生の身長増加に合わせて仕立て直しで対応できること。また、生徒の体格の変化や元々大柄な体格の生徒にも配慮できることが望ましい。
- ④汚れが付きにくく落としやすいなどの機能があり、家庭で頻繁に洗濯できること。
- ⑤耐久性に優れており、3年間使用できること。
- ⑥3年間使用した場合の全体の保護者負担額が、従来の詰襟学生服・セーラー服の平均的な価格を同等または下回る価格であること。
- ⑦購入にあたっては、幅広い価格帯から選択できるような価格設定を行い、できる限り保護者への配慮を行うこと。

## 6 プレゼンテーションについて

提出された提案書等（サンプルを含む本プロポーザルに係る資料として提出されたもの）に基づき、次のとおりプレゼンテーションを実施する。

### (1) 実施日時及び場所

日時：令和4年7月19日（火）

場所：常滑市役所1階会議室I（受付場所：市役所2階学校教育課）

※順番は提案書類提出順として、時間帯は提出時に連絡する。

### (2) 所要時間

企画提案書に基づくプレゼンテーション 15分

質疑応答 10分

### (3) 出席者数

事業者1社につき3名以内とする。

### (4) その他

- ①説明は、提出した提案書等に記載された文章、図、イラスト等及びサンプルの範囲内で行うこととし、追加資料の配布・使用は認めない。
- ②机、椅子、電源、スクリーン、プロジェクター（HDMIケーブル含む）は当検討委員会が用意する。ただし、パソコンは事業者側で持参するものとする。
- ③費用はすべて事業者側の負担とする。

## 7 選定方法

### (1) 審査

審査は検討委員会が提案書等に記載された内容（サンプル含む）及びプレゼンテーションと質疑応答の内容により、別紙の審査基準に基づき審査する。審査の結果、各審査委員が最高得点を最も多く付けた事業者をマスターメーカーとする。

各審査委員が最高得点を最も多く付けた事業者が複数いた場合は、その事業者の中で、各審査委員の評価した平均点が最も高い事業者をマスターメーカーとする。また、平均点が最も高い事業者が複数いた場合は、その事業者の中で、各審査員による決選投票を行い、マスターメーカーを決定する。

事業者が1社の場合は、上記と同様に審査し、各審査員の評価が60点以上の得点を満たせばマスターメーカーとする。

### (2) 結果の通知

審査の結果は、本プロポーザルに参加した全事業者に対し、令和4年8月2日（火）に書面で通知する。

なお、審査する委員及び審査の経過や結果などの審査に関する問い合わせや異議申立ては一切受け付けないものとする。

## 8 問い合わせ及び提出先

常滑市教育委員会教育部学校教育課（検討委員会事務局）

〒479-8610 常滑市飛香台3丁目3番地の5

電話番号：（0569）47－6129（直通） F A X：（0569）34－7745

Eメール：gakkokyo@city.tokoname.lg.jp

## 【審査基準】

審査項目	配点	審査の視点
デザイン・コンセプト	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレザー導入の趣旨を理解した上での提案がなされているか。</li> <li>・インナーや付属品など、魅力的な提案がなされているか。</li> </ul>
協力関係の構築	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒やその保護者または小中学校への情報提供や情報収集に協力できるか。</li> <li>・生徒を関わるような企画提案ができるか。 【例】展示会、ブレザー選挙など</li> <li>・制服決定後の仕様書作成とその開示、または販売業者・メーカー対象の説明会への対応に協力できるか。</li> <li>・仕様書開示以後も、長期にわたり信頼関係が築けるか。</li> </ul>
実績	10	企業として、またはマスターメーカーとしての実績は十分か。
快適性	10	寒暖への適応性に優れ、快適に学校生活が過ごせるような提案がなされているか。
機能性	10	・中学生の身長が増加に合わせて仕立て直しができることや、汚れが付きにくく落としやすいなどの機能性についての提案がなされているか。
素材・耐久性	10	素材や縫製技術面など、3年間の着用に耐えうるような提案がなされているか。
経済性	10	従来 of 制服の価格を考慮しつつ、幅広い価格帯から選択できるような価格設定が行えるなど、保護者に配慮した提案がなされているか。